

# 2025年3月期 通期決算補足資料

---

株式会社IMAGICA GROUP  
証券コード：6879

2025年 5月9日

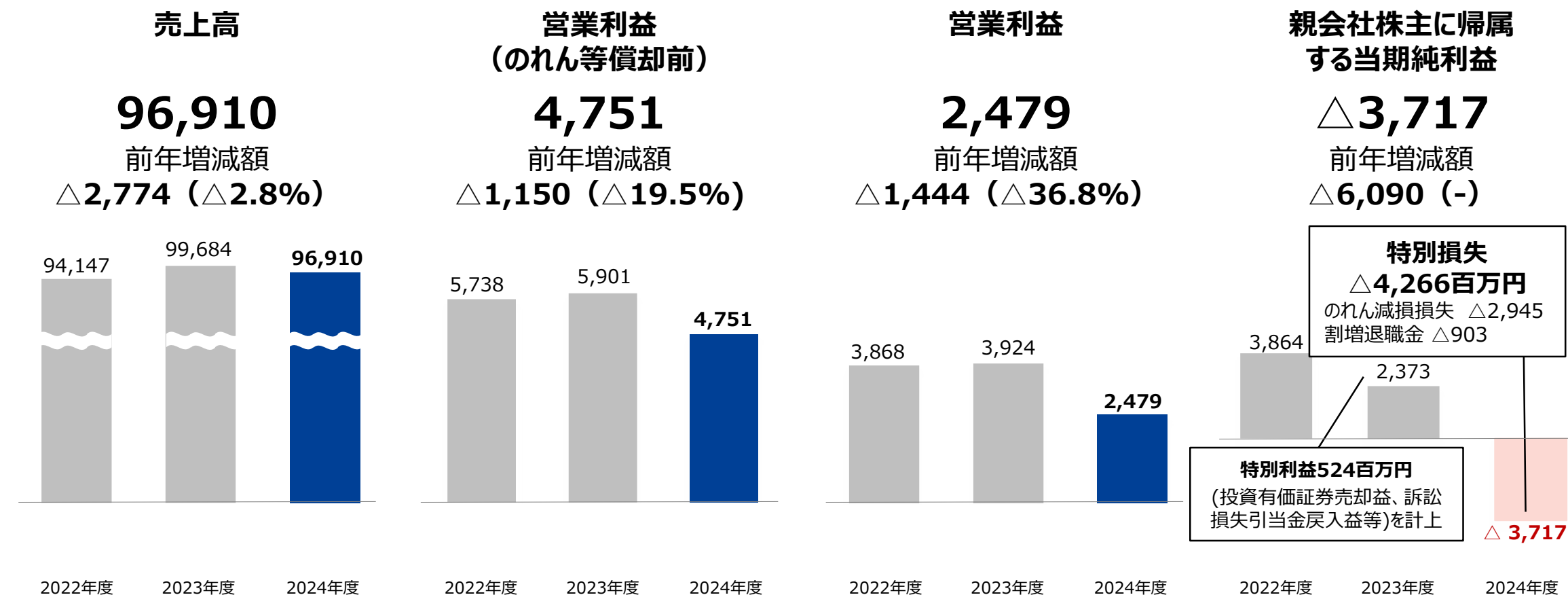


2025年3月期=2024年度

# 決算ハイライト

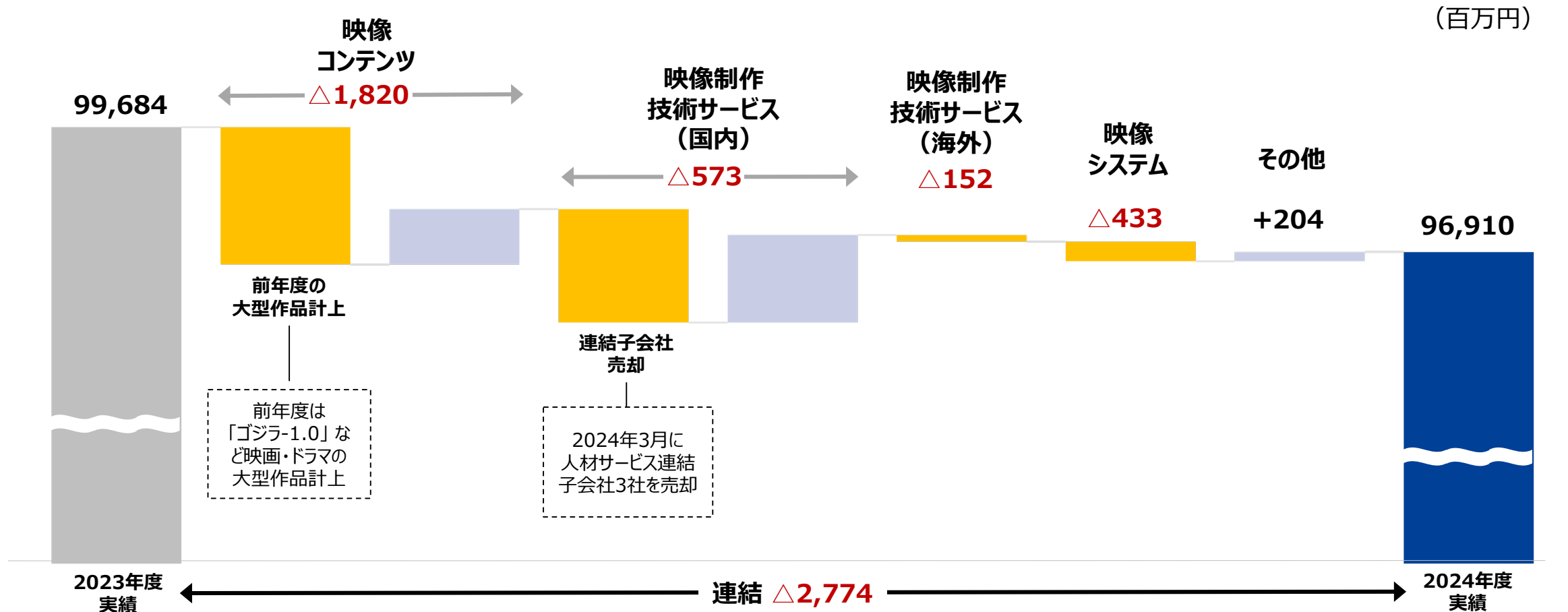
- ・国内事業は好調、海外事業は苦戦で人員整理によるコスト削減を実施、連結では減収減益
- ・海外事業の営業赤字に加え、特別損失に、海外事業に関わるのれん減損損失、TVポストプロダクション事業撤退に関わる割増退職金、を計上したことで、連結では純損失を計上

(百万円)



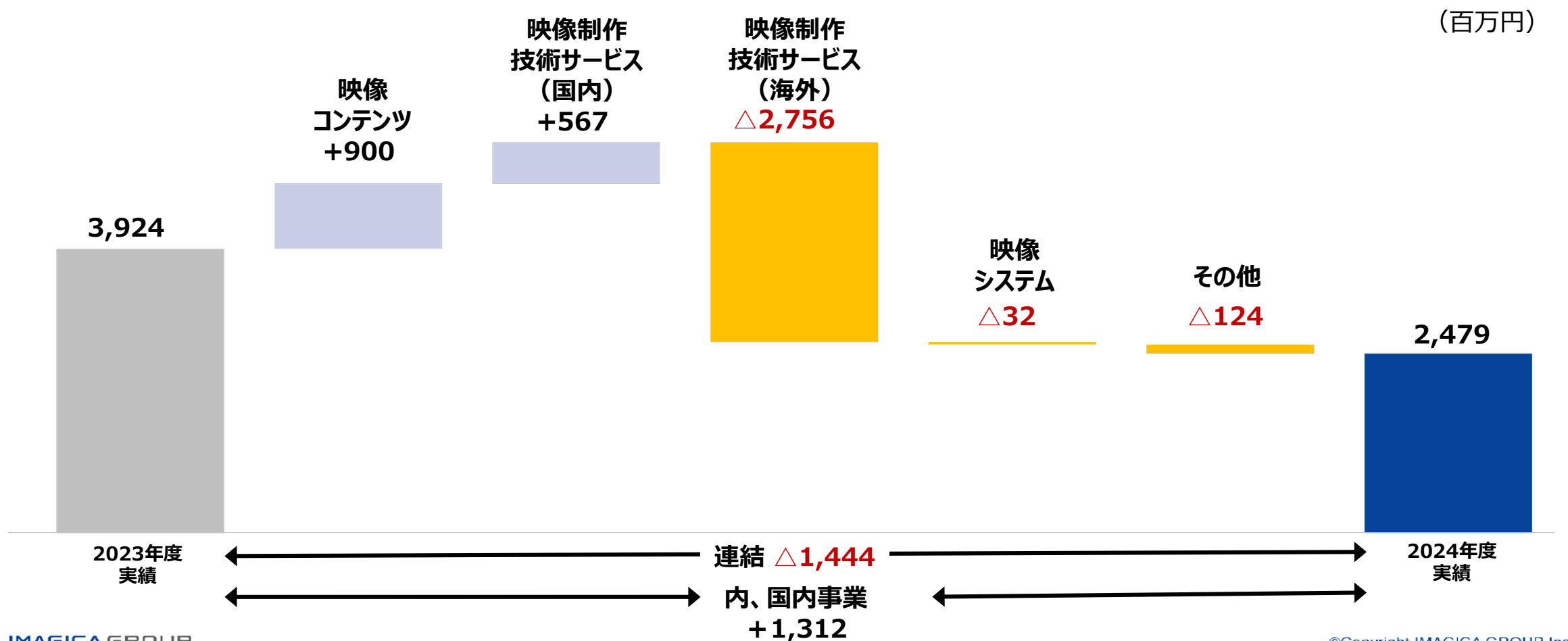
# 売上高 前年増減分析

- ・国内事業は前年度の連結子会社売却や大型作品計上の反動で減収
- ・海外事業は現地通貨ベースで大幅減収も為替影響で前年度並



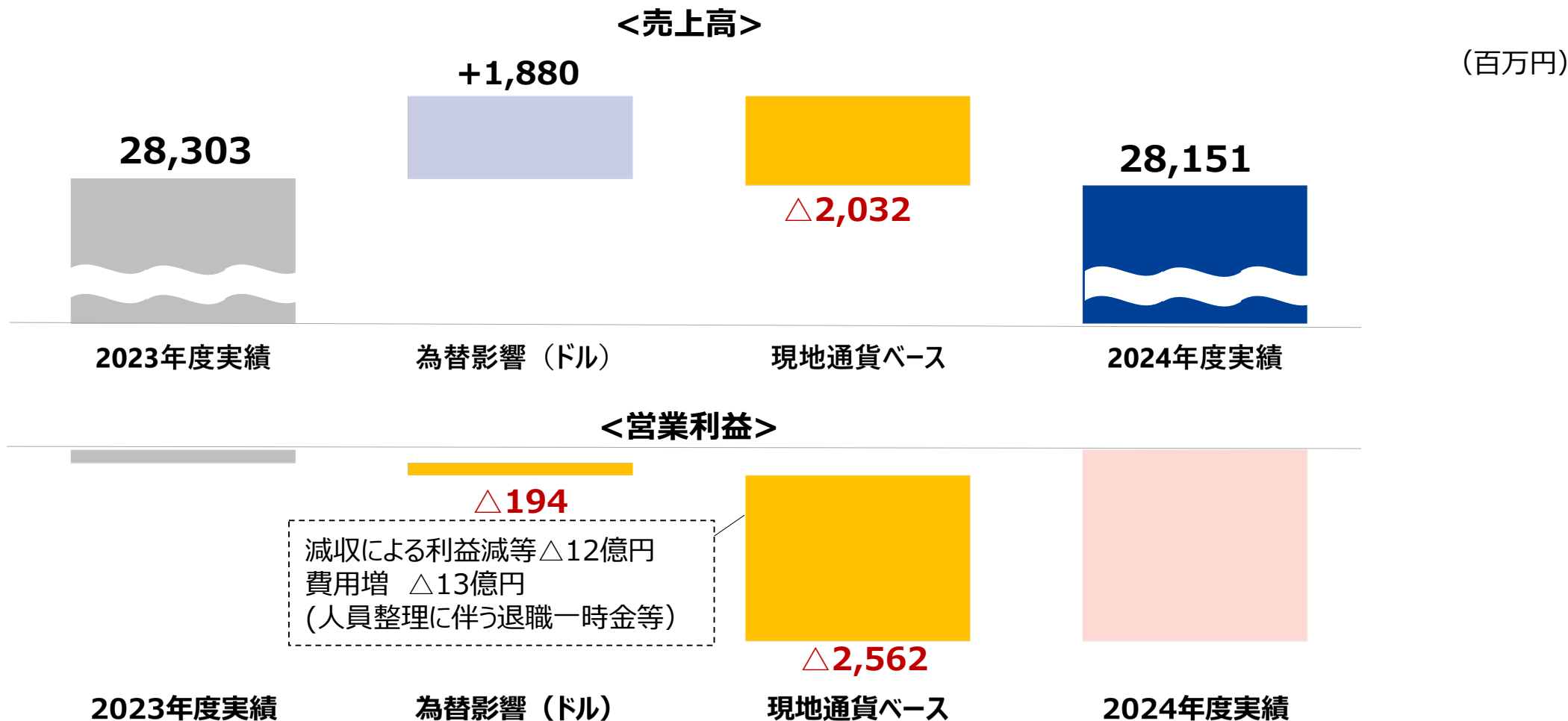
# 営業利益 前年増減分析

- ・国内事業は主に映像コンテンツの好調に支えられ増益
- ・海外事業は減収による利益減等に加え、費用増・為替影響で大幅減益



# 映像制作技術サービス（海外） 前年増減内訳

- ・ 海外事業は営業赤字のため為替変動（ドル高）は売上高にはポジティブなのに対し営業利益にはネガティブ、減収による利益減等に加えて費用増で大幅減益



# 2024年度に実施した事業変革

## 海外E2E事業

- 2024年度に2回の人員整理を実施  
2024年6月実施（90名）  
2024年10月実施（70名）

▶ **2回の人員整理により年間約13百万ドルのコスト軽減**

- 2024年度期末に関連するのれんを減損

▶ **2024年度に減損損失2,945百万円を特別損失に計上**

## TVポストプロダクション事業

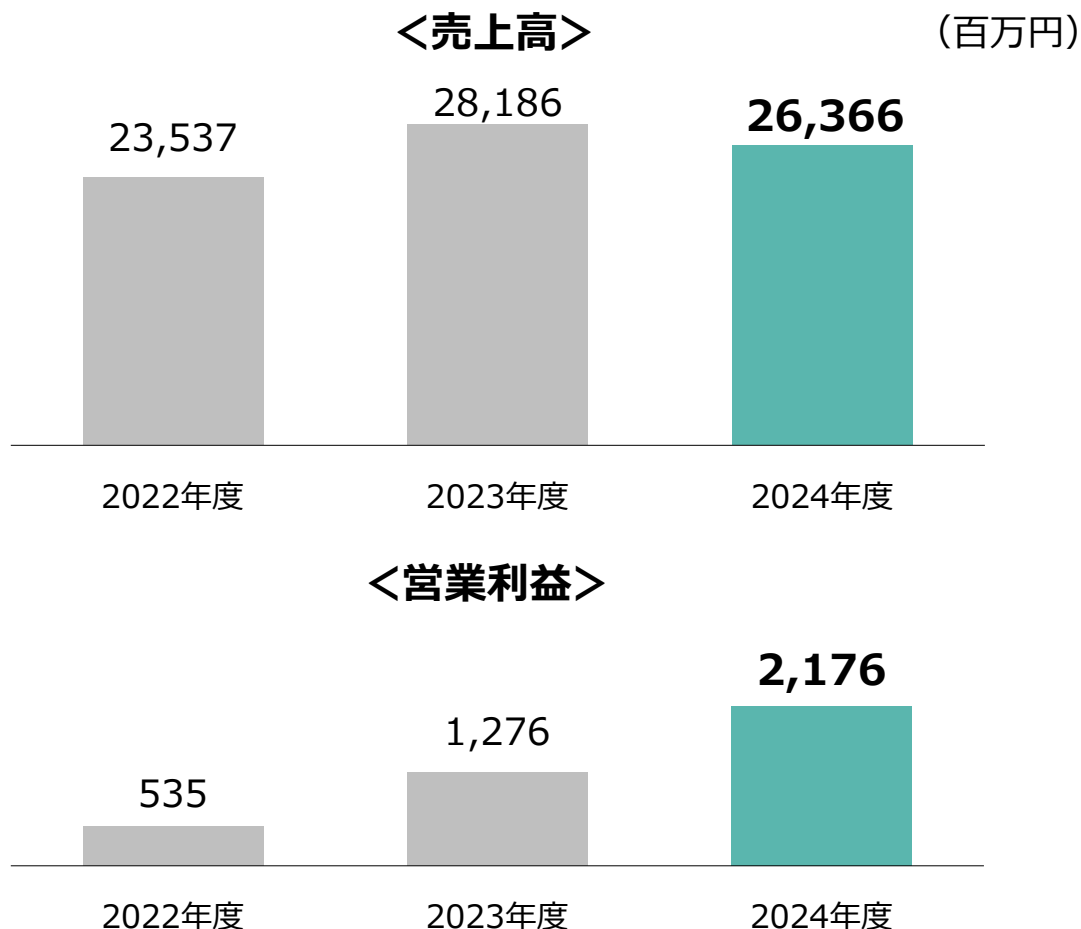
- 連結子会社IMAGICA Lab.が行うTVポストプロダクション事業からの撤退を決定
- 2024年度に希望退職者募集を実施
- 2025年6月30日に撤退完了予定

2024年12月26日	事業からの撤退を決定
2025年1月20日 -2月16日	希望退職者募集
2025年3月4日	募集結果発表（94名）

▶ **2024年度に事業撤退に関わる割増退職金903百万円を特別損失に計上**

# 映像コンテンツ事業

- ・劇場映画・ドラマの大型作品減で減収も、制作映画の成功報酬の計上、CM制作、アニメーション制作好調で増益となり、過去最高の営業利益率を達成



## 減収増益

売上高（減収）  $\Delta 1,820$  ( $\Delta 6.5\%$ )

営業利益（増益）  $+900$  ( $+70.6\%$ )

### 劇場映画・ドラマ作品

- ・前年度の大型作品計上の反動も、制作映画の成功報酬の計上等があり増益

### CM制作

- ・受注が好調に推移し増益

### アニメーション制作

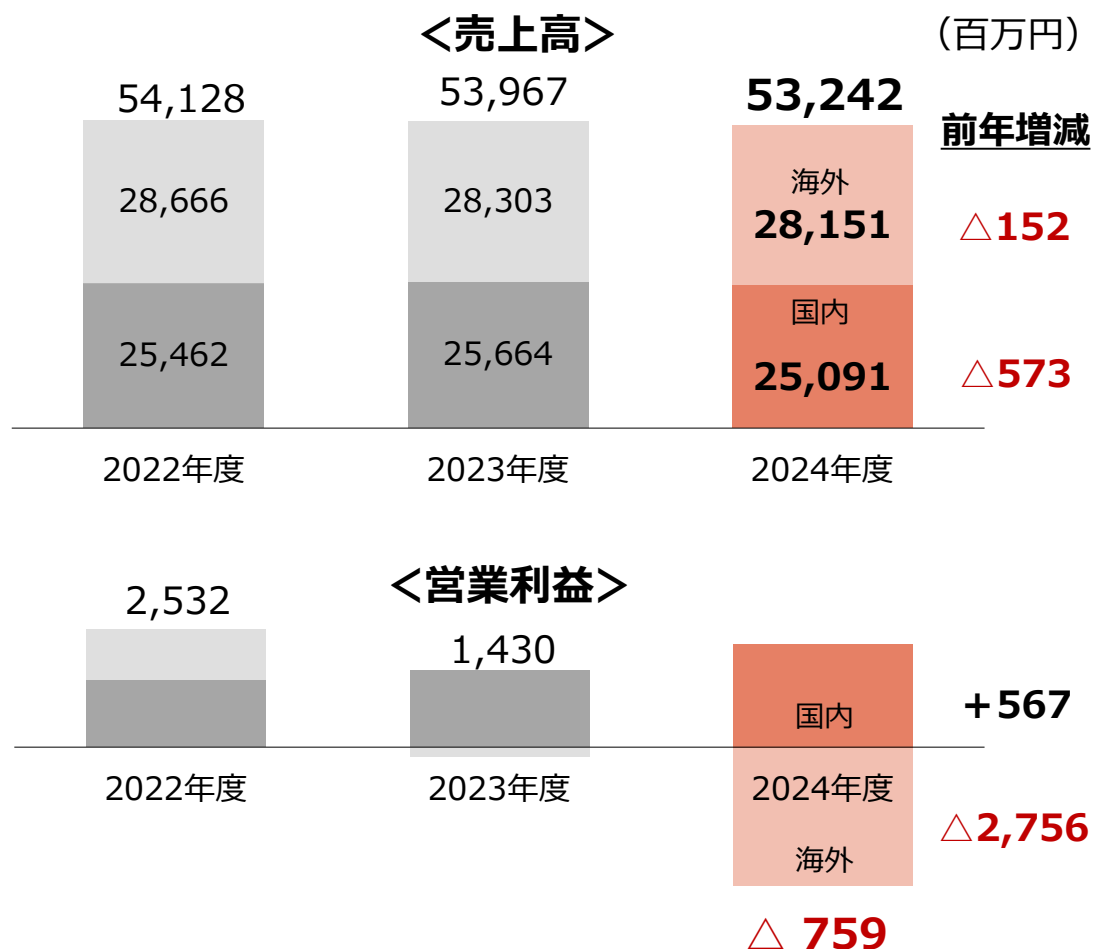
- ・CGアニメーション作品等が寄与し増益

### 出版

- ・「薬屋のひとりごと」のTVアニメ制作委員会からの配分金収入等の計上で増収

# 映像制作技術サービス事業

- 国内事業はゲーム関連事業等が好調も、海外事業は需要が大きく落ち込み人員整理関連の費用等増で減収減益



## 減収減益

売上高（減収） △724 (△1.3%)

営業利益（減益） △2,189 (-)

### 国内

#### E2Eサービス（国内）

- 映画向け編集サービス、デジタルシネマ向けサービス等好調

#### ゲーム関連事業

- 制作体制の拡充で3DCG制作の受注が増加し増収

#### ポストプロダクション事業

- TVポストプロダクション事業の受注が低調に推移
- TVポストプロダクション事業からの撤退を決定

### 海外

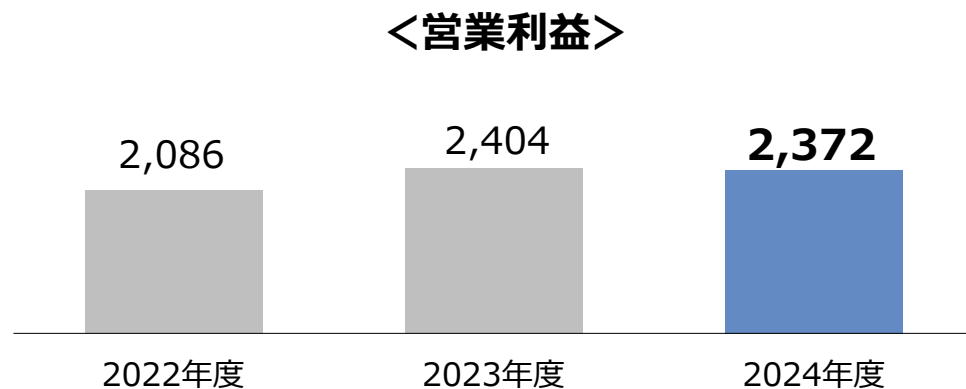
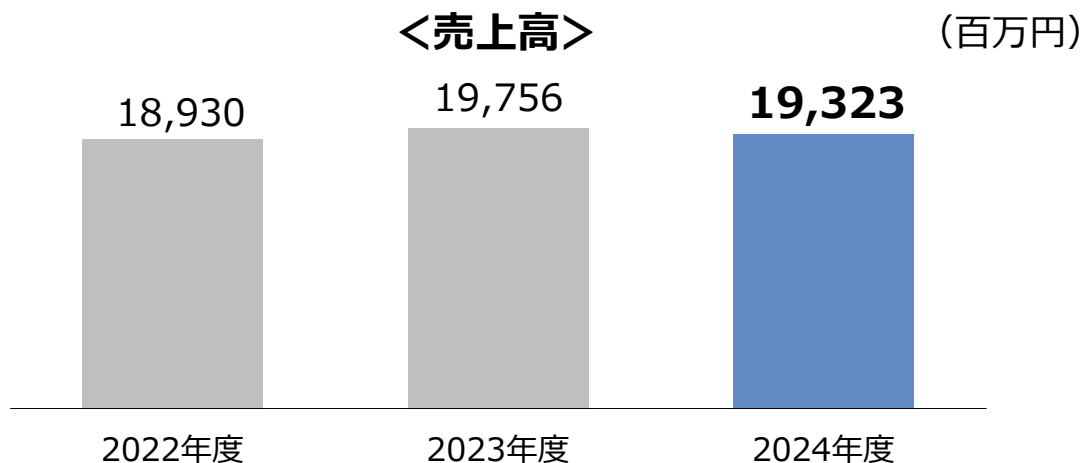
#### E2Eサービス（海外）

- ローカライズの受注が前年度から大きく落ち込み減収となり、2024年6月と10月に人員整理によるコスト削減実施
- 減収による利益減に加えて、人員整理関連の費用等が増加し、大幅減益



# 映像システム事業

- ・ハイスピードカメラは欧州向けは好調、米国向けも堅調も、中国向けが減速し、光学計測の受注も低調で、減収減益



## 減収減益

売上高 (減収) △433 (△2.2%)

営業利益 (減益) △32 (△1.3%)

## ハイスピードカメラ

- ・ 欧州向けは好調、米国向けも堅調に推移したが、中国向けが減速し、減収

## 放送映像システム

- ・ 納品が期末に集中したことに伴い増収

## 光学計測

- ・ 海外での計測装置の受注が低調で減収

# 2024年度 業績予想対比

詳細は「特別損失の計上および通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」  
(2025年5月9日付) を参照ください

- ・直近の業績予想に対し、営業利益は上振れ、海外事業に関わるのれん減損損失を特別損失に計上したことにより、当期純利益は下振れ

(百万円)	2023年度	2024年度				
	実績	3月4日 業績予想	実績	3月4日比 増減額	2023年度比 増減額	2023年度比 増減率
売上高	99,684	96,000	96,910	910	△ 2,774	△ 2.8%
営業利益	3,924	1,200	2,479	1,279	△ 1,444	△ 36.8%
(利益率)	3.9%	1.3%	2.6%			
経常利益	3,727	800	1,866	1,066	△ 1,861	△ 49.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,373	△ 1,500	△ 3,717	△ 2,217	△ 6,090	-
1株当たり当期純利益 (円)	53.57	△ 33.94	△ 83.97	△ 50.03	△ 137.54	-
1株当たり配当金 (円)	15.0	15.0	15.0	0.0	0.0	

**Appendix.**

# 連結損益計算書

(百万円)	2023年度 実績	2024年度 実績	前年増減額	前年増減率
売上高	99,684	96,910	△ 2,774	△ 2.8%
売上総利益	28,587	29,091	504	1.8%
(利益率)	28.7%	30.0%		
営業利益	3,924	2,479	△ 1,444	△ 36.8%
(利益率)	3.9%	2.6%		
経常利益	3,727	1,866	△ 1,861	△ 49.9%
(利益率)	3.7%	1.9%		
特別利益	888	282	△ 606	△ 68.2%
特別損失	216	4,266	4,049	1,868.4%
税金等調整前当期純利益	4,399	△ 2,117	△ 6,517	-
親会社株主に帰属する当期純利益	2,373	△ 3,717	△ 6,090	-
EBITDA	8,520	7,772	△ 747	△ 8.8%
(参考)営業利益 (のれん等償却前)	5,901	4,751	△ 1,150	△ 19.5%

※EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却 + 減価償却費

※営業利益 (のれん等償却前) = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

# 連結貸借対照表

\* 2024年3月末の数値については、前連結会計年度における  
企業結合に係る暫定的な会計処理の確定内容を反映

(百万円)	2024年3月末*	2025年3月末	増減額	主な増減要因
<b>資産の部</b>				
流動資産	41,288	48,672	7,383	{ 売掛金 +4,776 棚卸資産 +1,454
うち現預金	5,242	6,515	1,272	
固定資産	37,405	32,047	△ 5,358	
うちのれん	11,411	8,220	△ 3,191	
<b>資産合計</b>	<b>78,694</b>	<b>80,719</b>	<b>2,025</b>	
<b>負債・純資産の部</b>				
流動負債	28,950	36,890	7,940	{ 支払手形及び買掛金 +1,046 契約負債 +1,911
うち短期借入金	5,143	8,475	3,331	
固定負債	9,837	7,674	△ 2,163	
うち長期借入金	3,120	1,985	△ 1,135	
<b>負債合計</b>	<b>38,788</b>	<b>44,565</b>	<b>5,777</b>	
株主資本	33,731	28,955	△ 4,775	
その他包括利益累計額	4,097	5,584	1,487	
非支配株主持分	2,077	1,613	△ 464	
<b>純資産合計</b>	<b>39,906</b>	<b>36,154</b>	<b>△ 3,752</b>	
<b>負債純資産合計</b>	<b>78,694</b>	<b>80,719</b>	<b>2,025</b>	
ネット資金	△ 3,021	△ 3,945	△ 924	(現預金－長短期借入金)

# 連結キャッシュフロー計算書

(百万円)	2023年度 実績	2024年度 実績
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,730</b>	<b>3,891</b>
内 税金等調整前当期純利益	4,399	△ 2,117
減価償却費	2,941	3,453
のれん償却額	1,655	1,839
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	1,928	△ 3,750
棚卸資産の増減額（△は増加）	1,007	△ 1,581
仕入債務の増減額（△は減少）	△ 523	919
契約負債の増減額（△は減少）	△ 2,668	2,049
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 4,461</b>	<b>△ 2,860</b>
内 有形固定資産の取得による支出	△ 2,291	△ 1,470
無形固定資産の取得による支出	△ 781	△ 1,174
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得・売却による支出	△ 470	△ 201
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 4,117</b>	<b>△ 284</b>
内 短期借入金の純増減額	△ 272	3,228
長期借入金の純増減額	431	△ 1,756
配当金の支払額	△ 668	△ 663
非支配株主への分配金の支払額	△ 1,379	△ 48
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△ 1,522	△ 680

# 事業セグメント別 連結子会社一覧（2025年3月末現在）

\*：海外子会社

## 映像コンテンツ事業

連結子会社：9社

株式会社ロボット

株式会社ピクス

株式会社オー・エル・エム

株式会社オー・エル・エム・デジタル

株式会社オー・エル・エム・ベンチャーズ

株式会社イマジカインフォス

株式会社IMAGICA EEX

## 映像制作技術サービス事業

連結子会社：20社

株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス

株式会社シネマコネク

Pixelologic Holdings LLC\*

PPC Creative Limited\*

株式会社IMAGICA Lab.

株式会社IMAGICAコスモスペース

株式会社ウェザーマップ

株式会社IMAGICA GEEQ

## 映像システム事業

連結子会社：8社

株式会社フォトロン

フォトロン メディカル イメージング株式会社

PHOTRON USA, INC. \*

PHOTRON EUROPE LIMITED\*

アイチップス・テクノロジー株式会社

株式会社 IP モーション

株式会社フォトニククラティス

# 会社概要

## 経営理念

私たちは、誠実な精神をもって新たな価値創造につとめ、  
世界の人々に「驚きと感動」を与える  
映像コミュニケーショングループを目指します。



会社名	株式会社IMAGICA GROUP
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 長瀬 俊二郎
設立	1974年6月10日（創立：1935年2月18日）
本社	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目14番2号
連結子会社	37社（2025年3月31日現在）
資本金	33億6百万円
事業内容	映像コンテンツ事業、映像制作技術サービス事業、 映像システム事業等を営むグループ会社の事業の統括
従業員数	4,222名（1,364名）（2025年3月31日現在） ※従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に外数で記載しております
連結売上高	969億10百万円（2025年3月期）



お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP

経営戦略部

Email : [ir@imagicagroup.co.jp](mailto:ir@imagicagroup.co.jp)

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

X (旧Twitter) : <https://twitter.com/IMAGICAGROUP>

【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。